

# 第30回「議員と語り合い」報告書

2班 (No.1)

開催日	令和元年 5月 8日(水) 午後7時 ~ 8時30分		
開催場所	崎森地区公民館		
団体名	論地地区自治公民館 西原地区自治公民館 十三塚地区自治公民館 桑坂地区自治公民館	参加人員	14人 (男12人:女 2人)
出席議員	松枝 正浩、鈴木てるみ、徳田 修和、前島 広紀、松元 深		
役割分担	班 長 ( 松元 深 ) 副班長 ( 鈴木てるみ ) 記録係 ( 松枝 正浩 )		
テーマ及び具体的な内容	・ 市政全般及び地域課題		

意見交換での主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆国民健康保険税の改正により個人負担が上がるため、高齢者にとっては負担が大きい。霧島市と阿久根市のみが賛成であったが、なぜ霧島市は賛成をしたのか。
	◇市の医療費の状況や他自治体の状況も示していただきながら審議を行った。また、他の健保よりも多く国民健康保険への公費負担をしている状況である。今後の医療費等を総合的に勘案すると、県が示した保険税率にしなければならないとの判断をした。
	◆観光の視点から、県道・市道の草払いや道路整備を行うべきである。 ◇各道路管理者へも要望を伝えている。また道路アダプト制度もあるが、地域として難しい状況にある。
◆臨空団地と空港周辺道路は、ゴミが多いので観光の視点からしっかり管理すべきである。現在、道路整備を行っている論地の場所は、危険がない状態での管理を行うべきである。 ◇論地の道路は、市へ状況を伝えたい。	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆臨空団地の今の状況は。活用のビジョンを作成して欲しい。

◇活用策での提案を県に行っているが、なかなか難しい。議会でも質問したい。

◆子どもたちのためにも、溝辺から国分行きバス路線に力を入れて欲しい。バスとJRの時間接続も考慮すべきである。交通体系も見直すべきである。

◇市長等もバス会社へ要望を行っているが、なかなか難しい状況である。

◆議員は、地元・出身地域だけでなく霧島市全体のことを考えるべきではないか。将来を見ながらの計画も必要ではないか。

◇市全体の発展を考えて仕事をしている。都市計画マスタープランで、まちづくりの方向性を示している。議員も委員として参画しているので、意見を述べていきたい。

◆校区でのコミュニティを形成すべきである。

◆鹿児島市が行っている福祉バスを霧島市でも行って欲しい。

◆路線バスへの補助金を市は行っているか。地域に応じた交通対案の検討を。

◇バス会社へ補助金を出している。公共交通会議もできて話をしている状況である。

◆地域の環境整備、メンテナンス等を含め、しっかりと行っていただきたい。過疎地域における地域支援で、人口減対策を行うべきである。

意見交換での主な意見等